



平成 25 年 5 月15日

清水港新興津コンテナターミナル第2バース供用開始式典の開催

国土交通省中部地方整備局、静岡県、静岡市は、清水港におけるコンテナ貨物の取扱量増加や入港船舶の大型化などに対応し、狭隘なコンテナヤード解消や荷役サービスの向上を図るため、新興津において水深15mの国際海上コンテナターミナルの整備を進めてきました。

今般、「清水港新興津コンテナターミナル第2バース」が完成し、供用開始式典を開催しますので、お知らせします。

この第2バースの供用開始により、清水港の港湾サービス向上とともに、駿河湾地域における産業の国際競争力強化が図られることが期待されます。

1 式典の概要

名 称：清水港新興津コンテナターミナル第2バース供用開始式典

日 時：平成25年5月25日(土) 11:00～12:00

場 所：清水港新興津コンテナターミナル第2バース
(静岡県静岡市清水区興津清見寺町)

主 催：国土交通省中部地方整備局、静岡県、静岡市

2 式典の内容

(1)主催者挨拶 (2)来賓祝辞 (3)事業概要説明 (4)テープカット (5)クレーン始動

3 添付資料

清水港新興津コンテナターミナル第2バースの概要

4 取 材

保安対策を実施している制限区域内での式典となりますので、取材を希望される場合は、別紙「取材申込書」により、事前に静岡県清水港管理局までFAXでお申し込み下さい。

※ 申し込み締切は、平成25年5月20日(月)17:00までです。

5 配 布 先

中部地方整備局記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、
日本海事新聞社、海事プレス (※静岡県政記者クラブ及び静岡市政記者クラブには、それぞれ静岡県及び静岡市から発表します。)

6 そ の 他

(1) 本資料は、国土交通省中部地方整備局、静岡県、静岡市で同時発表しています。

(担当部署)

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 野村

TEL :054-352-4146 FAX :054-353-3072

静岡県 交通基盤部 港湾局 港湾企画課 小泉、大石

TEL :054-221-2133 FAX :054-221-2389

静岡市 経済局 商工部 清水港振興課 池田、眞田

TEL :054-354-2432 FAX :054-353-1022

(2) 別紙「取材申込書」に関する問い合わせは、静岡県清水港管理局までお願いします。

(担当部署)

静岡県清水港管理局 企画振興課 法月、山口

TEL :054-353-2203 FAX :054-354-0380

取材申込書

清水港新興津コンテナターミナル第2バース供用開始式典

5月25日(土) 11:00~12:00

FAX:054-354-0380 (TEL:054-353-2203)

清水港管理局 企画振興課 宛

次のとおり取材を申し込みます。

- ① 社名

- ② 取材者氏名(取材者全員をご記載ください。)

(代表者)

- ③ 連絡先(TEL)

- ④ 持込機材(テレビカメラ等)

平成 25 年 5 月 20 日 (月) 17:00 までにご送信ください。

※ 式典会場が立入制限区域となっていますので、入場者確認のため、ご協力の程よろしくお願いいたします。

※ 入場方法

ゲート入口横にて受付後、会場までシャトルバスで移動していただきます。

なお、社名入りの腕章の着用をお願いいたします。

しみずこうしんおきつ
清水港新興津コンテナターミナル第2バースの概要

1. 事業の必要性及び概要

静岡県は、製造品出荷額(H23)が約 14.8 兆円(全国 4 位、シェア:5.2%)であり、清水港は、国内有数のモノづくり県を支える物流・流通拠点となっています。

清水港における大水深コンテナバースは、新興津地区水深 15m 岸壁 1 バースのみであることから新興津地区に入港できない大型船は、喫水調整を行い、袖師地区水深 12m 岸壁に入港するなど非効率な輸送を余儀なくされています。

本ターミナルの整備によって、増加するコンテナ貨物や入港船舶の大型化に対応が可能となり、更なる物流効率化を図り、産業立地環境の改善を通じて駿河湾地域における産業の国際競争力の強化を図ります。また、耐震構造の採用により、大規模地震発生時においても幹線物流機能を維持することで、地域経済への影響を軽減することが期待されています。

なお、本ターミナルは、岸壁、泊地、防波堤の整備を国土交通省中部地方整備局、ふ頭用地、ガントリークレーン、臨港道路等の整備を静岡県が進めてきました。

○全体計画

事業箇所： しみずこうしんおきつちく しずおかけんしずおかししみずく 清水港新興津地区(静岡県静岡市清水区)

事業内容： 岸壁(耐震)(水深 15m、延長 350m)、泊地(水深 15m)、防波堤、ふ頭用地、荷役機械、臨港道路 等

事業期間： 平成 20 年度～平成 27 年度

2. 期待される整備効果

清水港において、増加するコンテナ貨物や入港船舶の大型化に対応することで、更なる物流効率化を図り、駿河湾地域における産業の国際競争力強化を図ります。

また、大規模地震発生時においても幹線物流機能を維持することで、地域経済への影響を軽減します。

◆新興津コンテナターミナルの位置図

